

はしがき

グローバル化の進展に対応する人材の育成を目指す英語教育の更なる充実が求められています。文部科学省は、「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」（平成25年12月13日）を公表し、初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めてきました。

現在、東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020年から、更その後10年間の社会の在り方を見据え、次期学習指導要領に向けて小・中・高等学校を通じた新たな英語教育改革が進んでいます。

中央教育審議会が2016年12月にまとめた学習指導要領等の改善及び必要な方策等についての答申には、外国語教育における「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの資質・能力を明確化した上で、各学校段階の学びを接続させるとともに、「外国語を使って何ができるようになるか」を明確化するという観点から目標の改善・充実を図ること、学習・指導の改善充実や教育環境の充実のため、「主体的・対話的で深い学び」の実現、新たな外国語教育に対応した教材の充実、指導体制、教員養成・研修の必要性について提言されております。

本県では、平成25年度より「あきた発！英語コミュニケーション能力育成事業」を立ち上げ、「小・中・高一貫した授業改善」、「教員の授業力向上」、「英語を学ぶ環境整備」を三つの柱に、児童生徒が、英語を手段として積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む英語教育の推進に取り組んで参りました。その結果、児童生徒の言語活動量の増加、生徒の英語力向上など大きな成果を得ております。

本指導事例集は、外国語活動・英語担当教員の授業改善や指導力向上に役立てていただくことを目的とし、県内の優れた取組の一部を編集したものです。授業で実践した効果的なアクティビティー、単元のゴールを見据えた授業構想、英語教育推進の組織的な取組等、参考にすべき多くの事例が盛り込まれた本指導事例集が校種の枠を超えて多くの教員に活用され、英語教育の一層の充実・改善に結び付くことを期待しております。

最後になりますが、事例提供など、快く御協力いただいた皆様に心から敬意と感謝の意を表します。

平成29年3月

秋田県教育委員会
教育長 米田 進